

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成27年9月17日(2015.9.17)

【公開番号】特開2015-143272(P2015-143272A)

【公開日】平成27年8月6日(2015.8.6)

【年通号数】公開・登録公報2015-050

【出願番号】特願2015-94074(P2015-94074)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/34 (2006.01)

A 6 1 K 8/37 (2006.01)

A 6 1 K 8/31 (2006.01)

A 6 1 K 8/25 (2006.01)

A 6 1 K 8/41 (2006.01)

A 6 1 K 8/22 (2006.01)

A 6 1 Q 5/10 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 8/34

A 6 1 K 8/37

A 6 1 K 8/31

A 6 1 K 8/25

A 6 1 K 8/41

A 6 1 K 8/22

A 6 1 Q 5/10

【手続補正書】

【提出日】平成27年7月3日(2015.7.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ヒトのケラチン繊維を染色または明色化するための組成物であって、化粧品上許容される媒体中に、

(a) 25重量%から80重量%の1種または複数の脂肪物質；

(b) スメクタイト、パーミキュライト、ステイブンサイト、およびクロライトの群のクレーから選択される0.1重量%から15重量%の1種または複数のシリケート；

(c) 酸化染料および直接染料、またはそれらの混合物から選択される1種または複数の染料；1種または複数の塩基性化剤；あるいはそれらの混合物；

(d) 1種または複数の酸化剤

を含むことを特徴とする組成物。

【請求項2】

脂肪物質が、 $C_6 \sim C_{16}$ 低級アルカン、動物、植物、鉱物または合成起源の非シリコーン油、脂肪アルコール、脂肪酸、脂肪酸および/または脂肪アルコールのエステル、非シリコーンワックスならびにシリコーンから選択されることを特徴とする、請求項1に記載の組成物。

【請求項3】

脂肪物質が、室温および大気圧で液体またはペースト状、好ましくは液体である化合物

から選択されることを特徴とする、請求項1または2のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項4】

脂肪物質が、 $C_6 \sim C_{16}$ 低級アルカン、植物、鉱物または合成起源の非シリコーン油、脂肪アルコール、脂肪酸、ならびに脂肪酸および/または脂肪アルコールのエステル、あるいはそれらの混合物から、好ましくは $C_6 \sim C_{16}$ 低級アルカン、植物、鉱物または合成起源の非シリコーン油、脂肪アルコール、脂肪酸、ならびに脂肪酸および/または脂肪アルコールのエステル、あるいはそれらの混合物から選択される、請求項1から3のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項5】

シリケートがモントモリロナイト、ヘクトライト、ベントナイト、ベイデライト、およびサポナイトから選択されることを特徴とする、請求項1から4のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項6】

シリケートが第四級アミン、第三級アミン、酢酸アミン、イミダゾリン、アミン石鹸、脂肪硫酸塩、アルキルアリアルスルホン酸およびアミノオキシド、ならびにこれらの混合物から選択される化合物で変性されていることを特徴とする、請求項1から5のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項7】

シリケートがクオタニウム-18ベントナイト、ステアルアルコニウムベントナイト、クオタニウム-18/ベンズアルコニウムベントナイトおよびクオタニウム-18ヘクトライトから選択されることを特徴とする、請求項1から6のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項8】

シリケートの含量が組成物の重量に対して0.5重量%から10重量%であることを特徴とする、請求項1から7のいずれかに記載の組成物。

【請求項9】

酸化染料として、パラ-フェニレンジアミン、ビス(フェニル)アルキレンジアミン、パラ-アミノフェノール、オルト-アミノフェノールおよび複素環式ベース、ならびにそれらの付加塩から選択される1種または複数の酸化ベースを含むことを特徴とする、請求項1から8のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項10】

メタ-フェニレンジアミン、メタ-アミノフェノール、メタ-ジフェノール、ナフタレン系カップラーおよび複素環式カップラー、ならびにまたそれらの付加塩から選択される1種または複数のカップラーを含むことを特徴とする、請求項1から9のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項11】

直接染料として、イオン性または非イオン性アゾ染料;メチン染料;カルボニル染料;アジン染料;ニトロ(ヘテロ)アリアル染料;トリ(ヘテロ)アリアルメタン染料;ポルフィリン染料;フタロシアニン染料;および天然直接染料を、単独でまたは混合物として含むことを特徴とする、請求項1から10のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項12】

アンモニア水、アルカリ金属炭酸塩または重炭酸塩、水酸化ナトリウム、水酸化カリウム、および25℃でのpK_bが12未満、好ましくは10未満、さらにより有利には6未満である有機アミンから選択される1種または複数の塩基性化剤を含むことを特徴とする、請求項1から11のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項13】

塩基性化剤がアルカノールアミン、好ましくはモノエタノールアミンから選択される有機アミンであることを特徴とする、請求項1から12のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項14】

塩基性化剤が塩基性アミノ酸から選択される有機アミンであることを特徴とする、請求項12に記載の組成物。

【請求項 15】

請求項1から14のいずれか一項に記載の組成物が適用されることを特徴とする、ヒトのケラチン繊維を染色する方法。

【請求項 16】

一方の区画に1種または複数の脂肪物質、場合により酸化染料および直接染料またはそれらの混合物から選択される1種または複数の染料を含む第1の組成物;他方の区画に1種または複数の酸化剤を含む第2の組成物を含む2区画装置であって;スメクタイト、パーミキュライト、ステイブンスイト、およびクロライトの群のクレーから選択される1種または複数のシリケートを含む第1の組成物および/または第2の組成物、好ましくは第1の組成物が2つの組成物の一つおよび/または他方に、好ましくは第1の組成物中に存在し;任意選択の塩基性化剤が好ましくは第1の組成物中に存在し;2つの区画の組成物がヒトのケラチン繊維への適用直前に一緒に混合され本発明に係る組成物を与えることが意図され、この混合により生じる組成物が請求項1から14のいずれか一項に記載されている、2区画装置。

【請求項 17】

1つの区画に1種または複数の脂肪物質を含む第1の組成物、もう1つの区画に酸化染料および直接染料またはそれらの混合物から選択される1種または複数の染料;1種または複数の塩基性化剤;あるいはそれらの混合物を含む第2の組成物;および最後の区画に1種または複数の酸化剤を含む第3の組成物を含む3区画装置であって、第1、第2および/または第3の組成物がスメクタイト、パーミキュライト、ステイブンスイト、およびクロライトの群のクレーから選択される1種または複数のシリケートを含み;3つの区画の組成物がヒトのケラチン繊維への適用直前に一緒に混合され本発明に係る組成物を与えることが意図され、この混合により生じる組成物が請求項1から14のいずれか一項に記載されている、3区画装置。